降誕日前夕の礼拝

Christmas Eve Lessons and Carols

司式　　牧師　司祭　下条裕章
補式　　執事　日高馨輔
　　聖職候補生　中村真希

入堂　聖歌 70
祈り
詩編 19:1-5
第 1 日課　創世記 3:8-15
聖歌 368　1,2,3 **節**
第 2 日課　創世記 22:15-19
聖歌 347　　1,3,4 節
第 3 日課　イザヤ 9:1,5-6
聖歌 64　　1,2,3,4 節
第 4 日課　イザヤ 11:1-3a, 4a-6,9a
聖歌 88
マリアの賛歌
第 5 日課　ルカ 1:26-38
聖歌 66　　1,3,4 節
第 6 日課　ルカ 2:1-7
聖歌 85　　1,2,4 節
第 7 日課　ルカ 2:8-17
聖歌 92　　1,2,3 節
第 8 日課　マタイ 2:1-3,7-12
聖歌 94
第 9 日課　ヨハネ 1:1-14
シメオンの賛歌
クリスマス・メッセージ（司祭　下条裕章）
聖歌 104　　1,2,3 節
使徒信経
祈り
退堂　**聖歌** 81

2021 年 12 月 24 日　聖アンデレ教会

入堂聖歌　70

Once in royal David's city
Cecil Frances Humphreys Alexander (1818-1895)

IRBY
Henry John Gauntlett (1805-1876)

司式者　　キリストにあって愛する皆さん、今宵、わたしたちは、み言葉を聞き、賛美の歌を歌い、主のご降誕の物語に耳を傾け 、主イエス・キリストがこの世に降り、幼子として誕生してくださったことを神に感謝するために、そして、人となられた主のご一生と犠牲のお働きによって与えられた永遠の救いの希望を共に喜ぶために、ここに集っています。今も神がわたしたちのうちにおられることを思い起こし、祈りをともにいたしましょう。

一同、次の祈りを唱える。

一同　　全能の神よ、み恵みによってわたしたちを祝し、キリストの永遠の命の喜びに与らせ、わたしたちを天の民の交わりに伴ってください。
主イエス・キリストのみ名によって　　アーメン

司式者　　主よ、わたしたちの口を開いてください
会衆　　わたしたちは、主の誉れを現します
司式者　　栄光は、父と子と聖霊に
会衆　　初めのように、今も、世々に限りなく
アーメン
司式者　　主をほめたたえましょう
会衆　　主のみ名をたたえます

詩編　第 19 編 1-5 節

1　天は神の栄光を語り‖　大空はみ手の業を告げる
2　日は日に言葉を語り継ぎ‖　夜は夜に知識を伝える
3　言葉でもなく、話でもなく‖　その声も聞こえないが
4　その響きは地を覆い、その言葉は世界の果てに及ぶ‖神は海に太陽の幕屋を据えられた
5　太陽は花婿のように住まいを出て‖　勇士のようにその道を喜び走る
栄光は‖　父と子と聖霊に
初めのように、今も‖　世々に限りなく　　アーメン

一同、着席する。

第 1 日課　創世記　第 3 章 8 節から

その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れると、 主なる神はアダムを呼ばれた。
「どこにいるのか。」
彼は答えた。
「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。わたしは裸ですから。」
神は言われた。
「お前が裸であることを誰が告げたのか。取って食べるなと命じた木から食べたのか。」
アダムは答えた。「あなたがわたしと共にいるようにしてくださった女が、木から取って与えたので、食べました。」
主なる神は女に向かって言われた。

「何ということをしたのか。」
女は答えた。「蛇がだましたので、食べてしまいました。」
主なる神は、蛇に向かって言われた。
「このようなことをしたお前は、あらゆる家畜、あらゆる野の獣の中で、呪われるものとなった。お前は、生涯這いまわり、塵を食らう。お前と女、お前の子孫と女の子孫の間に、わたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕き、お前は彼のかかとを砕く。」　＜創世記 3:8-15＞

一同、立つ。

聖歌　368　1,2,3 節

368　　イエス・キリスト

8686 (CM)

1　いと きよき神を　ほめたたえよ
　み業も言葉も　たえにくすし

2　すべての罪より　救うために
　愛もて戦う　主はきませり

3　アダムの末なる　滅びの子を
　血をもてあがない　きよめませり

4　園にひざまずき　木にあげられ
　世びとの悲しみ　負いたまえり

5　主イェスの与うる　よき賜物
　われらをきよめて　神をしめす

6　いと きよき神を　ほめたたえよ
　み業も言葉も　たえにくすし

ロマ5：12－21　1ペト2：24　マコ14：32－42

Praise to the Holiest in the height
John Henry Newman (1801-1890)

GERONTIUS
John Bacchus Dykes (1823-1876)

司式者　　主よ、わたしたちに平和と和解の心をお与えください
会衆　　アーメン

一同、着席する。

第 2 日課　創世記　第 22 章 15 節から

主の御使いは、再び天からアブラハムに呼びかけた。 御使いは言った。
「わたしは自らにかけて誓う、と主は言われる。あなたがこの事を行い、自分の独り子である息子すら惜しまなかったので、 あなたを豊かに祝福し、あなたの子孫を天の星のように、海辺の砂のように増やそう。あなたの子孫は敵の城門を勝ち取る。地上の諸国民はすべて、あなたの子孫によって祝福を得る。あなたがわたしの声に聞き従ったからである。」
アブラハムは若者のいるところへ戻り、共にベエル・シェバへ向かった。アブラハムはベエル・シェバに住んだ。

＜創世記 22:15-19＞

聖歌　　347　1,3,4 節

347 父なる神

※ヘ短調で歌う場合には346の譜を用いることができる

The God of Abraham praise
Thomas Olivers (1725-1799)

LEONI
Hebrew melody

司式者　神よ、み子のみ前に立つ恵みをわたしたちにお与えください
会衆　アーメン

一同、着席する。

第３日課　イザヤ書　第９章１節から

闇の中を歩む民は、大いなる光を見
死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。

ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。
権威が彼の肩にある。
その名は、「驚くべき指導者、力ある神
永遠の父、平和の君」と唱えられる。
ダビデの王座とその王国に権威は増し
平和は絶えることがない。
王国は正義と恵みの業によって
今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。
万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。

＜イザヤ 9:1,5-6＞

一同、立つ。

聖歌　　64　1,2,3,4 節

64　　**降臨節**

8888 : 88

1　久しく待ちにし　主よ　とく来たりて
　み民の縄目を　解き放ちたまえ

（おりかえし）
　主よ　主よ　み民を救わせたまえや

2　あしたの星なる　主よ　とく来たりて
　おぐらきこの世に　み光をたまえ

（おりかえし）

3　望みのもとなる　主よ　とく来たりて
　争う　み民を　一つにしたまえ

（おりかえし）

4　ダビデのすえなる　主よ　とく来たりて
　平和の花咲く　国をたてたまえ

（おりかえし）

5　尽きぬ力なる　主よ　とく来たりて
　輝く　み座に　永遠につきたまえ

（おりかえし）

イザ25：9　詩116：16　詩130：5－8　エフェ2：14　イザ11：1－10

Veni, veni, Emmanuel
Latin, ca. 9c.

VENI EMMANUEL
Processionale, 15c.; adapt. Thomas Helmore (1811-1890)
Plainsong, Mode 1

司式者　　聖霊なる神よ、 わたしたちに霊の賜物をお与えください
会衆　　アーメン

一同、着席する。

第 4 日課　イザヤ書　第 11 章 1 節から

エッサイの株からひとつの芽が萌えいで
その根からひとつの若枝が育ち
その上に主の霊がとどまる。
知恵と識別の霊
思慮と勇気の霊
主を知り、畏れ敬う霊。
彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。

弱い人のために正当な裁きを行い
この地の貧しい人を公平に弁護する。
正義をその腰の帯とし
真実をその身に帯びる。

狼は小羊と共に宿り
豹は子山羊と共に伏す。
子牛は若獅子と共に育ち
小さい子供がそれらを導く。
わたしの聖なる山においては
何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。

＜イザヤ 11:1-3a, 4a-6, 9a＞

一同、立つ。

聖歌　　88

7877 : 7777

IL EST NÉ
French Carol
arr. John Ryuta Suzuki (1959-)

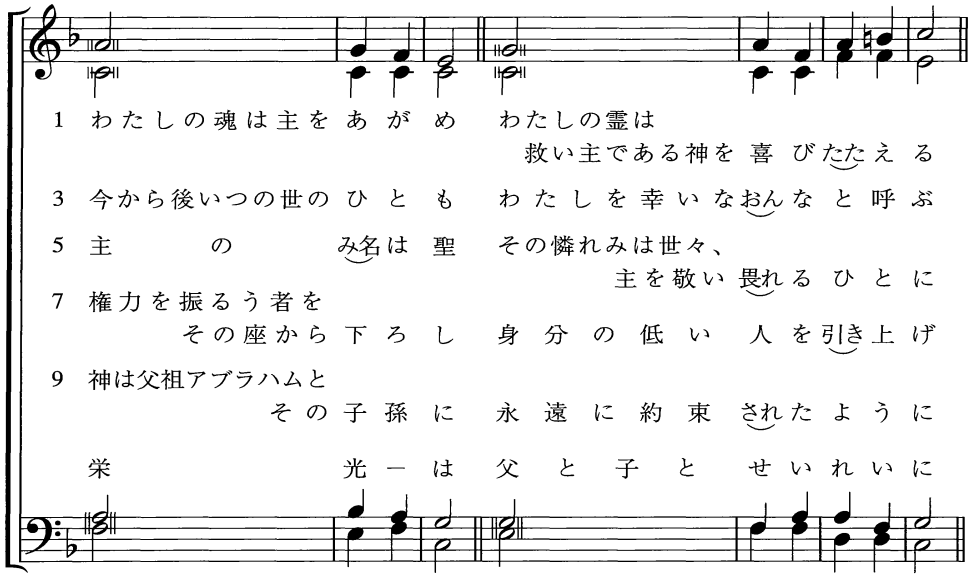
Il est né, le divin enfant
French carol

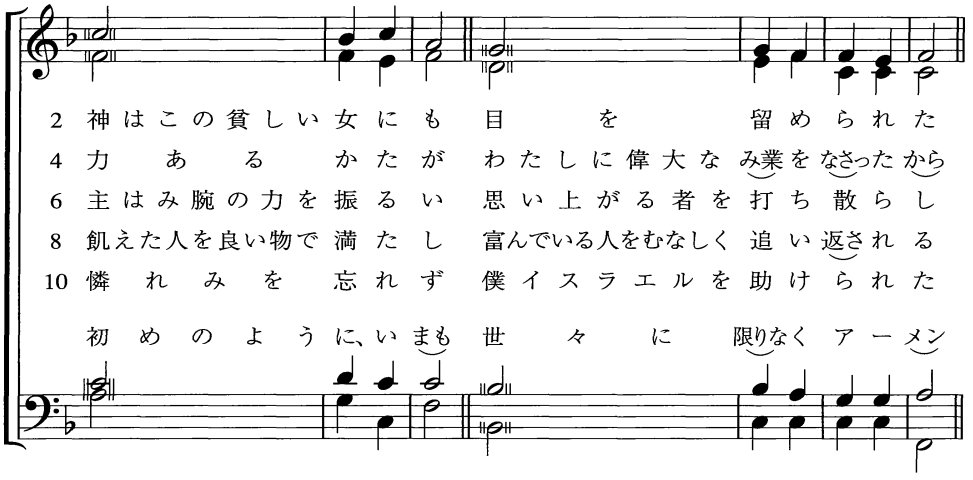
司式者　神よ、 あなたのみ心をわたしたちにお示しください

会衆　アーメン

マリアの賛歌

S8-5 マリヤの賛歌





Edward John Hopkins (1818-1901)

一同、着席する。

第 5 日課　聖ルカによる福音書　第 1 章 26 節から

六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。神にできないことは何一つない。」マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

＜ルカ 1:26-38＞

一同、立つ。

聖歌　　66　1,3,4 節

Birjina gaztettobat zegoen
(The angel Gabriel from heaven came)
Basque carol

GABRIEL'S MESSAGE
Basque carol, arr. Edgar Pettman (1865-1943)

司式者　　神よ、 わたしたちにも飼い葉桶に眠るみ子に出会う恵みをお与えください

会衆　　アーメン

一同、着席する。

第 6 日課　聖ルカによる福音書　第 2 章 1 節から

そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

＜ルカ 2:1-7＞

一同、立つ。

聖歌　　85　1,2,4 節

8686 7686

※詩は86と同じ

O little town of Bethlehem
Phillips Brooks (1835-1893)

ST. LOUIS
Lewis Henry Redner (1831-1908)

司式者　み子のご降誕を最初に羊飼いに告げられた神よ、
わたしたちにもみ使いを遣わし、あなたのみ旨を悟らせてください

会衆　アーメン

一同、着席する。

第 7 日課　聖ルカによる福音書　第 2 章 8 節から

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

「いと高きところには栄光、神にあれ、
地には平和、御心に適う人にあれ。」

天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。

＜ルカ 2:8-17＞

一同、立つ。

聖歌　　92　1,2,3 節

8787

1 ひつじを飼うもの　夜 まきばにて
たえなる輝き　見ておののけり

2 み使い語りて　おそれをしずめ
よろず国びとの　幸いを告ぐ

3「ダビデの村にて　ダビデの末の
み救い主なる　キリスト生まれぬ」

4「布にてつつまれ　うまぶねに臥す
これぞ しるしなる　とく 行きおがめ」

5 あまたの み使い　空にあらわれ
声うちあわせて　たたえ歌えり

6「神には み栄え　地にはおだやか
人には み恵み　とこしえにあれ」

ルカ2：8－20

While shepherds watched their flocks by night
Nahum Tate (1652-1715)

STUTTGART
Psalmodia Sacra, 1715

司式者　万物の造り主よ、 今もいつまでも祝福をお与えください

会衆　アーメン

一同、着席する。

第 8 日課　聖マタイによる福音書　第 2 章 1 節から

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。
ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

＜マタイ 2:1-3, 7-12＞

一同、立つ。

聖歌　　94

94 降誕節

8888 : 88

The first Noel the angels did say
English traditional

THE FIRST NOEL
English traditional

司式者　主よ、 わたしたちにあなたのみ言葉に近づく恵みをお与えください

会衆　アーメン

一同、聖書の方を向き、聖書朗読を聞く。

第 9 日課　聖ヨハネによる福音書　第 1 章 1 節から

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

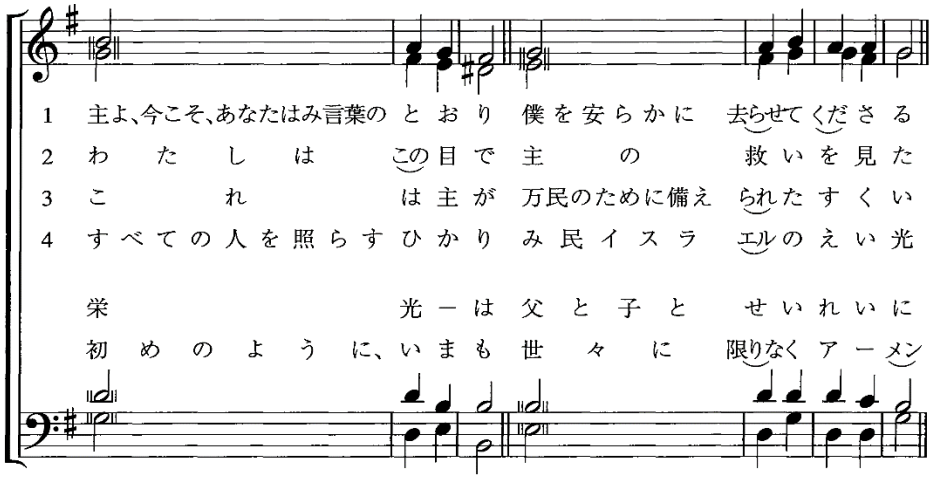
神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。彼は光ではなく、光について証しをするために来た。その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。

言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

＜ヨハネ 1:1-14＞

シメオンの賛歌

S11-5　　**シメオンの賛歌**



William Hine (1687-1730)

クリスマス・メッセージ　　司祭　下条裕章

一同、立つ。

聖歌　　104　　1,2,3 節

使徒信経

わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。
また、その独り子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によって宿り、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られま

した。そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。
また、聖霊を信じます。聖なる公会、聖徒の交わり、罪の赦し、体のよみがえり、永遠の命を信じます　　アーメン

祈　り

一同ひざまずく。以下、特祷までを歌いまたは唱える。

司式者　　主よ、憐れみをお与えください
会衆　　キリストよ、憐れみをお与えください
司式者　　主よ、憐れみをお与えください

次に一同、主の祈りを歌いまたは唱える。

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおり地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、
悪からお救いください。
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。　　アーメン

ここで司式者は立つ。

司式者　　主は皆さんとともに
会衆　　また、あなたとともに
司式者　　祈りましょう

降誕日特祷

全能の神よ、あなたは独りのみ子に人性を取らせ、この時、清いおとめから生まれさせてくださいました。どうか、その恵みによって、再び生まれ、神の子とされたわたしたちを、常に聖霊によって 新しくしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします

会衆　　アーメン

司式者　　神の正義と平和の実現のためにともに祈りましょう

一同、次の祈りを唱える。

主よ、わたしをあなたの平和の道具としてください
憎しみのあるところに、愛を
分裂のあるところに、調和を
傷つけあうところに、赦しを
誤りのあるところに、真理を
疑いのあるところに、信仰を
絶望のあるところに、希望を
暗闇に光を、
そして悲しみのあるところに喜びをもたらすものとしてください。
聖なる父よ、どうかわたしに
慰められるよりも、慰めることを
理解されるよりも、理解することを
愛されるよりも、愛することを先ず求めさせてください。
わたしたちは、与えることによって与えられ、
自分自身を忘れることによって本当の自分を見いだし、
赦すことによって赦され、
死ぬことによって、永遠の命に目覚めるのですから　アーメン

（アッシジの聖フランシスコ　平和の祈り）

祝福

受肉によって、天上と地上のあらゆるものを一つに集められたキリストが、
皆さんにますますキリストの喜びと平安を満たしてくださいますように。
主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにありますように。

アーメン

一同、立つ。

聖歌　81

Hark! the herald angels sing
Charles Wesley (1707-1788)

MENDELSSOHN
Felix Mendelssohn-Bartholdy (1809-1847)
adapt. William Hayman Cummings (1831-1915)

7777D : 77

1 「神には栄え　地にはおだやか
人には恵み　あれ」と歌える
み使いたちの　たたえの歌を
聞きてもろびと　ともによろこび
今 あれまししし　きみをたたえよ

2 定めたまいし　救いのときに
神の みくらを　はなれて降り
貧しく低き　おとめに宿り
世びとのなかに　住むべきために
今 あれまししし　きみをたたえよ

3 あさひのごとく　輝きのぼり
み光をもて　暗きを照らし
つちより出でし　人を生かしめ
尽きぬ命を　与うるために
今 あれまししし　きみをたたえよ

ルカ2：12－14　ヨハ1：14　フィリ2：6－11　ガラ4：4　イザ9：1－2

会衆は着席して、しばし黙祷する。